

サイバー犯罪による米国の経済損失は年間 1000 億ドル

2013 年 7 月 23 日

JETRO NY 諸岡

戦略国際問題研究所 (CSIS) とコンピュータセキュリティー企業 McAfee は、7 月 22 日、サイバー犯罪、サイバースパイが及ぼす米国経済への影響に関する報告書¹を発表した²。

この報告書によれば、サイバー犯罪等による米国経済の損失は年間約 1000 億ドルと推計され、雇用人数に換算³すると 508,000 人の雇用が失われていると推計している。

この損失は、サイバー犯罪、サイバースパイによる知的財産権の損失、営業秘密情報の損失、サイバー犯罪による被害、信用失墜、セキュリティー向上、機会損失などを総合し、推計した。

また、損失額は、米国による車の事故による損失額や盗難等による損失額と同レンジにあるとされている⁴。

(了)

¹ 原題「The Economic Impact of Cybercrime and Cyber Espionage」

² [報告書](#) (PDF)

³ 商務省は 2011 年に 10 億ドルの輸出は 5080 人の雇用と等しいと見積もっている。

⁴ 報告書 5 ページの表を参照。